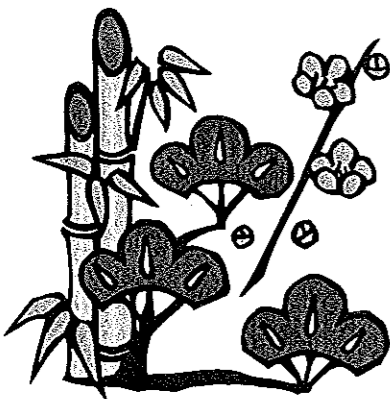




お正月

周南市飯島町1-13 Tel 22-8875 Fax 22-8813



ご家族おそろいで平成十六年の新春をお迎えることと心からお喜び申し上げます。

私も昨年に引きつづき家族で、とうの山に初登山を行いました。雲の切れ間からの日の出を見たとき、何ともいえないすばらしい感動がこみ上げてきました。この感動を忘れることなく胸に持ちつづけながら、懸命に努力していきたいと思います。

また今年も、周南市が発足してから二年目になり、この新市が山口県一の気力溢れる元気発信の町となるためにもコミュニティ活動とあわせて頑張っていく所存です。

今年もよろしくご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**新年あけまして
おめでどうござります**

新春をむかえて

徳山小学校区コミュニティ推進協議会
会長 國富 晃

これからの予定

2/11(水)	建国記念の日行事	児玉公園
2/20(金)・21(土)	公民館「きずな祭」	中央地区公民館
3/11(木)	岐陽・住吉中学校 卒業式	
3/18(水)	徳山小学校卒業式	市民館
3/21(日)	中央地区スパークゴルフ大会	徳山小グランド
4/4(日)	さくら街道祭り	美博前駐車場



から破約されてしまった。破約されても、莫大な人手と金を掛け徳山西浜崎海岸の自宅まで運び込んだが、その為倒産の憂き目に遭うことになる。

原田石屋の後継者田中米屋もこの巨岩の処分を手をこまねいていたところ、経済に素早い河村氏がそこに早く目をつけ、殆ど無料でこの石を買い取ったのである。

之が原石の偽らざる由来だそう。

この原石が徳山大仏建設となる由来については次回に。

藤原利之

身近な史跡めぐり② 徳山大仏(その1)

飯島町の本正寺境内に端座する石仏に、日頃より少なからず興味をもっていたのだが、幸いにも本正寺(中尾亮学住職)所蔵の貴重な大仏に関する資料を拝見する機会を得たので、数奇な運命を経て、この地に端座することになった徳山大仏を取り上げることにした。

大仏像の原石は、黒髪島の花崗岩で、元々大仏像ではなく、山口出身の井上薫公の遺徳を顕彰する記念碑として山口湯田の公園に建立する目的で掘り出されたことに驚かされた。

名を揚げ一儲けするつもりで、当時一番の原田石屋がこの仕事を請け負ったのであるが、重機の無い時代黒髪島の山頂近い谷間から、巨岩を運び出すのに毎日何十人の職人と一年以上の月日をかけて取り組んだが難工事の為遅々として進まずとうとう山口の注文者

園芸教室の近況



園芸教室では、四月の休館月は例年園芸に縁のある施設やイベントの研修旅行(15年は大分のフラワーフェスタ)を行い、毎月の第二土曜日に季節の園芸作業について杉村先生の指導を受けて実習に励んでいます。

これまでに盆栽類の植え替え・剪定、挿し木・鉢替え、苔玉づくりに、石付け盆栽などいろいろと勉強してきました。

十二月には、正月用の松竹梅の寄せ植えに取り組みました。狭い鉢に、バランスよく植えるためにレイアウトに苦労しましたが、一応の出

パソコン同好会からのお願い

来榮えに満足して力作を前に記念写真を撮りました。

一月からは、きずな祭り展示作品を創るために忙しい日を送っています。

でも、自分だけのオリジナル作品が出来るのは素敵だと張り切って寒さに耐えているこの頃です。

現在別館三階の旧事務室で同好会としてパソコンの勉強をしています。機材不足で思うように進んでいません。もし、新しい機械に変えられて古い機械の眠っているものがありましたら、寄贈していただければ助かります。

編集後記

周南市となつて初の新年を迎えました。届いた年賀状の中に、徳山と記されたものも多くあり、なんとなくうれしく思いました。

国内外共、相変わらず不安定な状況ですが、私たちひとり一人の小さな幸せを喜びにして、温かい地域活動が出来たらと願っています。

きずなは心の きずな つながり

「徳山きずな隊」中尾 千恵子

私達きずな隊は二〇〇三年七月に生まれたばかりの「ホカホカ」のよさこいチームです。

この話をいただきたいのは中央地区公民館の館長さんからでした。

さつそく、皆さんに呼びかけチームを作ることから始めました。なかなか仲間づくりが出来ず心配でしたが一人・二人と集まりチームが出来ました。十月二十五日・二十六日に行われた、中国・九州よさこい大会の大きな大会へ参加することの喜びで大いに盛り上がり心地良さを感じました。

よさこいを通じてもつともつと多くの人とふれあい、共に感動を分かち合えればいいなと思っております。おぼちやま



パワーでがんばっています。どなたでも、この地区の方でもすてきな仲間と一緒に「ハイハイよさこい」といい汗をかき、体を動かすことの大好きな皆さんお待ちして居ります。

お尋ねは中央地区公民館まで
☎二二一八八七五

児玉源太郎をしのぶ

児玉源太郎翁顕彰 実行委員会

事務局長 戸崎 哲男

徳山小学校の隣に児玉公園があり、その奥に児玉神社があるのは中央地区の皆様方ならよく御存知のことと思います。

児玉神社には、幕末から明治維新そして明治新政府となつてから我が国が近代国家へと生まれ変わつていくなかで、活躍した児玉源太郎という人が祀られています。

徳山毛利藩士だった児玉源太郎は、他の毛利本、支藩士だった桂太郎、山県有朋、寺内正毅、乃木希典といった人達と共に、函館戦争や西南戦争、そして日清・日露戦争などを体験しました。こうした過程のなかで台湾総督、陸軍大臣、文部大臣、内務大臣、などを歴任しています。

昨年は児玉源太郎が郷土徳山の若い人々のために資財を投じて私立図書館「児玉文庫」を開設されて百周年だったことから、児玉源太郎翁顕彰実行委員会（小野英輔会長）によって、産湯の井戸の修築と周辺整備事業を初めとして、文庫開設百周年記念碑の建立や、市立中央図書館にて児玉源太郎史料展なども開催されました。

私達の郷土周南市には、児玉源太郎をはじめ、浅田栄治、岩崎民平、高橋亀吉など、実にたくさん優れた人達が生まれています。図書館にはこうした人たちの書籍がたくさん揃っており、まさに宝の豊庫だと言えます。これを機会に皆さん一人ひとりの「私の敬愛し尊敬する人」を捜してみられてはいかがでしょうか。

尚、二千六年は児玉源太郎の没後百年の年にあたりますが、司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」がNHKの大河ドラマで放映されることと決定しています。全6巻の「坂の上の雲」の三、五巻は児玉源太郎を主人公に描かれています。放映される頃には、歴史小説ファンや児玉源太郎ファンの人達が全国から徳山に來られることと思えます。とても楽しみです。

あいさつ運動標語

あいさつで

はじまる一日

あかるい日

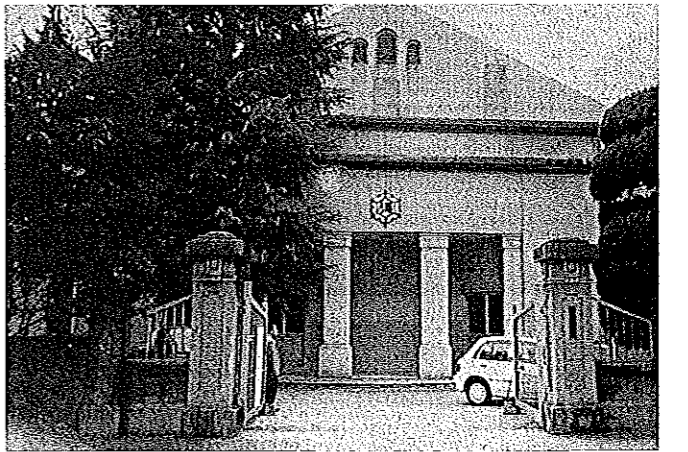
河谷 美東

あいさつを

される笑顔

する笑顔

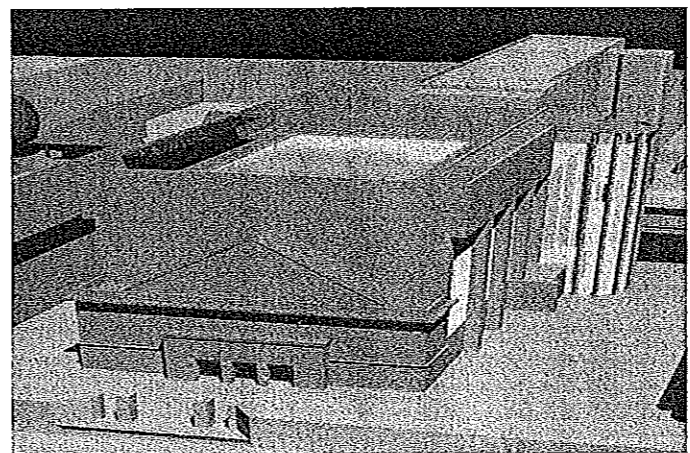
田村 勇悟



「講堂を取り壊すにあたり」

井上 剛

この度姿を消す講堂は、昭和四年度（一九一九年）に完成しました。御影石が随所に使用され、玄関や天井・ステージには素晴らしい細工が施された見事な建物です。五十数年前の空襲では、皆さまが必死の思いで守られ、戦火から免れた貴重な建物でもあります。昨年、数十年ぶりに帰徳された卒業生の方が立ち寄り、講堂に入った瞬間「あっ、これこれ、変わってないねえ。」と懐かしそうに話された姿が印象に残っています。



また、過日の講堂とお別れ会では、卒業生の方が、講堂にまつわる子供時代の思い出を懐かしそうに話された姿も忘れられません。このように講堂は、卒業生や地域の方々の温かい愛情に見守られ、皆さまにとりましては「心の故郷」とも言える存在であります。しかし、講堂の老朽化と体育館としての機能を充実させることが必要になり、更には、県総合庁舎の建築に伴って、新しいプールが必要になってきました。この講堂の素晴らしい歴史は、県内の小学校では始めての、モデル的な施設に引き継がれ、新たな歴史を歩み続けることと思えます。



所感

徳山中央婦人会長

近藤 和代

創立九十周年記念式典のあの感激の余韻は今尚私達会員の中に温く燃え続け更なる生甲斐が湧き出しそうです。特に凛とした会歌「鼓海」に力強い婦人会の未来を感じつつおられます。さて社会の激しい多様化の中にあつて特に青少年をめぐる問題の多発している現在私達婦人会は地域を核とし

てさまざまな活動を進める立場にあります。明るい社会環境づくり又、男女共同参画社会学習、更に福祉（介護）の輪づくり問題等課題は山積しております。いづれも新会員の獲得が難しく諸事困難の昨今ですが学びながら力をつけ地域の中で貢献する会のよさを多くの方に見直していただければ地道にとりくんで参りたい所存でございます。尚、児玉源太郎翁生誕百五十周年に当り郷土の偉人ゆかりの児玉公園に白もくれんを植樹、永久にご功績をお偲びしたいと存じます。今後創立百周年に向け会花（白もくれん）にあやかり清楚にたくましく感性溢るる会活動をと念願している今日このごろでございます。

栄えある受賞

おめでとうございます

平成十五年十一月三日

危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章

中村 三治さん